

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		152-02-02		
事務事業名		入札・契約事務事業		事務の種類			自治事務(義務的なもの)	
				連絡先			内線5020	
担当部署名		水道局総務課		予算科目	会計	水道事業会計		
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち		款	事業費用		
	施策	5	上下水道		項	営業費用		
	施策の方向	2	水道事業の経営基盤の強化		目	総係費		
事業の概要	対象 (誰を・何を)	入札・契約事務						
	目的 (どうしたいか)	公平・公正な入札、適正な契約事務の執行						
	手段 (事業内容)	工事請負、測量・設計コンサルタントをはじめとする業務委託、物品等の購入に係る入札・契約事務						

予算・決算額		(単位:千円)			※主な内訳(令和3年度決算)※
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 契約工事検査事務負担金 18,976千円 電子入札システム負担金 994千円 【特定財源】
当初予算額	事業費	22,605	21,266	20,185	
決算額	事業費	20,087	19,970	—	
	特定財源等	0	0	—	

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	水道局で行った入札件数	単位	件	
指標の説明	水道局で行った入札件数(見積徴収含む)			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標(見込)	105	88	81	
実績	88	81	—	

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	契約件数	単位	件	
指標の説明	1年間で行った契約件数			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標(見込)	171	153	116	
実績	153	116	—	

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 公平・公正性が確保された事務の執行状況であると考えられる。		(令和4年度以後の事業実施への改善内容) 市長部局で一元化(委託)できないか検討の余地もあると考える。

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		152-02-04		
事務事業名		広報事業		事務の種類			自治事務(義務的なもの)	
				連絡先			内線5020	
担当部署名		水道局総務課		予算科目	会計	水道事業会計		
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち		款	事業費用		
	施策	5	上下水道		項	営業費用		
	施策の方向	2	水道事業の経営基盤の強化		目	総係費		
事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民・市内事業所・上水道利用者						
	目的 (どうしたいか)	水需要が伸び悩む中、常に安全・安心・低廉な水を供給していること等をPRすることにより、水道事業への理解を深めていただき、より多くの水道水を利用していただく。						
	手段 (事業内容)	広報紙やwebサイトへの記事(事業内容)の掲載。本市浄水場で浄水した水を使用したボトルドウォーターのイベント等での配布、浄水場見学会の開催等。						

予算・決算額		(単位:千円)			※主な内訳(令和3年度決算)※
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 ウェブ関係108千円 (ウェブ保守及び新規ページ作成・サーバーレンタル) ボトルドウォーター関係2,410千円 (ボトル生産業務・デザイン) パンフレット作成171千円 【特定財源】
当初予算額	事業費	2,492	2,494	3,562	
決算額	事業費	279	2,518	—	
	特定財源等	0	0	—	

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	市民等への周知回数	単位	回	
指標の説明	市広報紙掲載回数+水道局webサイト更新回数+見学会等イベント開催回数+ボトルドウォーター配布回数			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	※事業の参考数値等※ 【市民等への周知回数】 広報12回(定例12回) ウェブサイト16回(定例12回・臨時4回) 見学会0回 ボトルウォーター配布回数 (庁内17件・学校等32件・その他・1件) 【広報内容種別数】 広報 15種 ウェブサイト 24種 他 1種(ボトルドウォーターの配布)
目標(見込)	85	48	78	
実績	36	78	—	

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	広報内容種別数	単位	種	
指標の説明	市民等へ周知した広報内容種別数			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標(見込)	39	40	40	
実績	40	40	—	

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題) 広報紙の記事掲載やwebサイトの随時更新・改訂・SDGs活動を推進し、ボトルドウォーターのアルミ缶への変更、大学と共同によるデザイン変更等により一定の成果はあると考える。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容) 今後は将来的な水道料金の改定も見据え、利用者アンケートの実施や、水道事業の経営状況等を積極的に広報紙やwebサイトへ掲載するなどの改善が必要と考える。また、ボトルドウォーターの製作及び配布数を増加(コスト低減のうえ)